

若山楮紙漉き体験プレオープン

若山楮を原料に和紙を作る「若山楮和紙工房」が完成しました。プレオープンとして、7月29日(土)、若山楮を使用した紙漉き体験「草花漉き込みうちわ漉き体験」に高知大学地域協働学部所属する学生6人が参加しました。

学生たちは、自然素材のみを使用して、江戸時代の手法で作る紙漉き体験に興味深々な様子でした。和田安友菜さんは「実際にしてみただけで思い出や勉強になる」と、楽しくて思い出や勉強になる」と、紙漉き体験を楽しんだ様子でした。

和紙職人の中嶋久実子さんは、「和紙原料を栽培し復活させる活動を始めて今年で10年目。工房は紙を漉くだけでなく、原料から紙にするまでの加工に取り組んでいる。地域の皆さんや多くの方の協力でオープンすることができた。これからも集落活動や若山



飾りの植物を並べています

楮和紙工房を広めて行きたい」と話していました。※剥いだ楮を水につけて外皮を包丁で削り取る作業。

黒潮のビーチを美しく

7月16日(日)、鞭・入野・田野浦・出口海岸で、地元のサーファー約50人と県外のサーファーが協力し合いビーチクリーンを行いました。

サーファーによるビーチクリーンは20年ほど前から続けられ、当初は入野海岸だけでしたが、2003年からは幡多地区すべての海岸に広がり行われています。放置されたペットボトルなどのごみや、海に打ち上げられた流木などが拾い集められ、最終的に2トントラ

ック2台がいっぱいになるほどのゴミが集められました。



沢山のごみが積まれていくトラック

町内小学5・6年生水泳記録会

町内の小学5・6年生の水泳記録会が8月3日(木)、佐賀中学校のプールで開催され、今年も大方地区・佐賀地区合同で行われました。

あいにくの空模様でしたが、子ども達は日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。今大会では8種目で大会新記録が打ち出され、歴代記録更新数でも2番目の好成績を収めました。

記録会に参加した佐賀小学校6年生の森田康平君は「小学校最後の記録会で、参加した全部の種目で新記録を出せてよかった。中学校では県1位になりたい」と話していました。

会場には多くの方が応援に訪れ、熱い声援を送っていました。



熱戦が繰り広げられました

出口営農組合設立

7月29日(土)、出口地区を拠点に活動する集落営農組織「出口営農組合」の設立総会が行われました。

設立総会には、町農業振興課をはじめ、JA大方支所や幡多農業振興センターなどの関係機関が出席し、設立を祝いました。

全国的に高齢化などにより耕作放棄地が生じる中で、集落営農組織を設立し、地域の農作業を受託することで、耕作放棄地の発生を未然に防止し、「地域を守る」という大きな役割を持つことになりました。

町内では11組織目の集落営農組織となりました。「まずはやれることから」ということで、同組合は作業受託から取組んでいきます。



出口営農組合と地区の皆さん

○お問い合わせ

本庁 農業振興課 農業振興係

☎ 43-1888